

2022年6月8日

東海学生テニス連盟加盟校各位

東海学生テニス連盟  
幹事長 渡辺駿太

### 新型コロナウイルス感染症ガイドライン

#### 1. 大会出場に際しての注意事項

- (1) 大会開催までに、このガイドラインを一読し、ガイドラインに沿った行動を心がけること
- (2) 大会期間中は新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行い、本部からの指示があった場合には従うこと
- (3) 以下の事項に該当する場合には**直ち**に大会本部(gakurentoukai@gmail.com)へ部長・監督が報告をし、**自主的**に参加を見合わせること
  1. 体調が良くない場合(例：発熱、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚障害などの症状がある場合)
  2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  3. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
  4. 抗原検査及び PCR 検査で陽性反応が確認された場合
- (4) 選手及び入場を希望する関係者は大会 2 週間前からの健康情報管理システム HeaLo の記入を行うこと。入場時に、2 週間の体温記録が確認できないと入場を認めない(<https://user-healo.jta-tennis.or.jp/register/s7nysten>)
- (5) 大会 2 週間前、大会中、大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部(gakurentoukai@gmail.com)に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

#### 2. 大会会場内での注意事項

- (1) 会場に入場する際は、毎日大会受付にて検温、アルコール消毒を行うこと
- (2) 毎日受付で渡される名札を、試合のとき以外常に首から下げておくこと
- (3) JTA の定める基本方針に従い、初回入場時、全ての入場者は 2 回のワクチン摂取証明、もしくは出場日から 1 週間以内の PCR 検査または抗原検査

の陰性証明の提示を行うこと。

- (4) 各大学の選手は前日練習及び試合日、指定された入場時間に入場し、試合終了後は速やかに会場から退出すること
- (5) 各大学の選手は試合日、指定された入場時間に入場し、試合終了後は速やかに会場から退出すること
- (6) 各大学の部長・監督、コーチ、トレーナーは、自校の選手の練習や試合ある時間帯に枠数を守りながら入場し、それ以外の時間帯には速やかに会場から退出すること
- (7) 会場内にて密や長時間滞在の原因となる行動はしないこと(陣地の設置やケアを行う場合は十分な距離を取った上で設置したり、行ったりすること)
- (8) 練習・試合中の選手、ボーラー、ソロチェアアンパイア以外の全ての来場者は必ずマスクを着用すること
- (9) こまめな手洗い、アルコール等による消毒を実施すること
- (10) 会場内・その他周辺で大きな声での会話・応援は控えること
- (11) 他の参加者、大会スタッフ等との距離（できれば 2m、最低 1m を確保すること）
- (12) 食事については極力会場内で行わないこと 止むを得ない場合は他との距離を十分取って注意して飲食する。ただし、Aコート横のスタンドに限り、それ以外での飲食は禁止とする（会場内で出たゴミは選手自身が責任を持って持ち帰ること）
- (13) 写真・動画撮影を行う場合は、十分な距離をとり細心の注意を払うこと。撮影をする場合、相手選手に許可をとってから撮影を行う。また、撮影した動画を双方の同意なく SNS に掲載する行為も禁止とする。

### 3. 会場の入退場について

#### (1) 入場に関して

大学ごとに入場時間を設ける。

A～C 大学	8:20 受付	8:45～9:10	プラクティス
D～F 大学	8:45 受付	9:15～9:40	プラクティス

※受付時間は、日ごとにローテーションする

※雨天時など場合によって変更する可能性がある。

(2) 退場に関して

時間の規定等はないが、各大学、試合が終わり次第速やかに退場すること。

4. 関係者の入場に関して

各大学、選手・監督・コーチを含めて男子 20 人、女子 15 人までとします。監督・コーチ等は 4 名までとする。また、保護者・OB 等の入場は認めていない。詳細については、別紙「入場規制について」にて記載。

5. コート開放について

今大会では、全試合終了後にコート開放します。8時30分には完全撤収  
また、練習コートでのごみ等は持ち帰ること  
また他大学との交流等、新型コロナウイルス、トラブルになるため禁止  
ルールに従わない場合は警告をとることとする。

6. トイレ・更衣室・シャワールームについて

試合のトイレットブレイクに関してはAコートとB6コートに関しては本部棟にある  
トイレAを、B1~B5コート及びC1~C5コートに関してはCコート横にあるトイ  
レBを利用すること。またトイレ内は最大2人までとし、更衣室は、最大3人まで  
とする。シャワールームは使用可（使用する際は本部の方で一言かけてくださ  
い）

7. 選手の試合中の遵守事項

(1) 十分な距離の確保

- ① ポイント間、チェンジエンドの際は対戦相手、パートナーとの距離を極力  
2メートル以上確保すること
- ② 試合終了の挨拶は握手以外の方法で行うこと(審判との挨拶含め)

(2) ラケットや自らの試合で使用するボールなどのプレーに必要なもの以外にはコ  
ートサーフェスも含めできるだけ手で触れないこと

(3) タオルの共用はしないこと

(4) タオルは手が触れる面と顔を触れる面を使い分けること

(5) プレー中は手で顔を触れるのを極力避けること

(6) ラケット・水筒をはじめとする用具を他人と共有しないこと

(7) 咳・くしゃみの際は腕で口を覆うこと

(8) 唾・痰を吐くことは行わないこと

## 8. 会場外での注意事項

- (1) 食事を取る際は所属する大学内のみでの食事とし、食事中の会話は控えること
- (2) 市内飲食店での飲酒を控えること
- (3) 選手同士の部屋間の移動は必要最低限とし、1 部屋に大人数の選手が集まることは控えること
- (4) ホテルと会場間の移動中は必ずマスクを着用し、同じメンバーでの移動にすることを推奨する
- (5) 人が密集する場での会話は控えること
- (6) 大会期間中、大会終了後 2 週間以内は夜間、外での飲食は控えること
- (7) 大会期間中及び大会終了後 14 日間、健康チェックフォームへのインプットを継続してください。

ルールに従わない、虚偽報告などを行っている大学に関しては、出場する大学全体のその後の試合を失格処分とし、その大学全体に対して、東海学生テニス連盟の大会の 4 か月出場停止及びポイントのはく奪の処分に処す。

大会終了後に発覚した場合も同様のペナルティを課す。

各大学選手は、「自覚を持った行動」を心がけてください。

## 9. 大会スタッフに係わる施策

- ① 本ガイドラインの周知徹底を図ること
- ② 大会スタッフから以下の情報の提出を求めること
  - (1) 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)
  - (2) 大会当日の体温
  - (3) 大会前 2 週間における以下の事項の有無
    - ・平熱を超える発熱
    - ・咳や喉の痛みなど風邪の症状
    - ・倦怠感、息苦しさ
    - ・嗅覚や味覚の異常
    - ・体が重く感じる・疲れやすい等
    - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされたものとの濃厚接触の有無
    - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている

国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

- ③ スタッフが欠けた際の計画を立てること
- ④他のスタッフから常に 2 メートルの距離を保つこと
- ⑤ 良好な衛生状態を維持すること
- ⑥ 常にマスクを着用すること（マスクの着用条件を満たす場合）
- ⑦ トイレの使用前後やものの表面に触れた後も含めて定期的に手を洗い、消毒すること
- ⑧ 可能な限りものの表面に触れないようにすること
- ⑨ 電話やコンピューターのキーボードを含め、定期的に机の周りを消毒すること
- ⑩ 私物を共有しないこと
- ⑪ 新型コロナウイルス感染症の症状が出た場合、また症状のある人と接触した場合は会場に入場しないこと。

## 10. 医療面での対応

ドクター・トレーナーが配備されている場合

### 1. 体制

- ① 新型コロナウイルス感染症の疑いがある者のための隔離室を用意する。
- ② 個人用保護具及び赤外線温度計の適切な供給を維持する。
- ③ 隔離、メディカルスクリーニング、連絡の流れ、現場からの搬送を含んだ現場での新型コロナウイルス感染症症例への対応手順を確立する。
- ④ スポーツイベント再開ガイドラインに基づき、万が一感染症が発生した場合に備える

### 2. 対象者別対応施策

- ① 選手
  - ・大会開始 2 週間前からの症状(発熱、咳などの風邪症状)の有無を確認させること
  - ・新型コロナウイルス感染症症状チェックシートを大会 14 日前から回答し(選手の決定が 14 日前より遅れた場合はその時点から記入)、試合当日の朝も健康チェックシートへの記入を行うこと
  - ・大会トーナメントディレクターはドクターの助言を受け、回答結果から総合的に出場可否を判断し、必要に応じて PCR 検査を選手に要請すること
- ② 大会役員
  - ・大会トーナメントディレクターはドクターの助言を受け、回答結果から総合的に判断し、必要に応じて PCR 検査を要請すること
- ③ 医療関係者向け安全対策
  - ・新型コロナウイルス感染症症状の有無を確認すること

- ・常にマスクを装着して対応すること
- ・選手に触れた際には随時手洗い、うがい、消毒を心がけること
- ・手を洗った後はペーパータオルを使用すること
- ・一定の距離を保ち、選手に近づいての対処をできるだけ短時間に手際良く行うこと
- ・処置を実施する場合、グローブ、必要であればフェイスガードを使用すること
- ・処置の後は必ず使用した機材の適正な処理と必要な範囲の洗浄消毒を行うこと

以上